

病児・病後児保育事業の「量の見込み」補正案

病児・病後児保育事業の「量の見込み」の算出については、本審議会で既に御審議いただきましたが、国から補正方法が情報提供されたことを受け、次のとおり補正案を提案いたします。

国が示した補正方法は、各自治体から報告された調査結果を基に、よりニーズの実態に近いと考えられる算出方法の例をまとめたものです。

1 国の補正方法の概要

- *利用の希望日数を、現在の平均利用日数とする。
- *現在のキャンセル率をかける。
- *「日常的・緊急時等に祖父母等に見てもらえる」と回答した人を除く。

2 補正方法の提案

審議会です承いただいた「量の見込み」を基に、次のとおり補正したいと考えております。

- *本市の直近のキャンセル率^{*}をかける。
- *「産休・育休・介護休暇中である」と回答した人を除く。

※キャンセル率

①平成 25 年度 利用件数	②平成 25 年度 キャンセル件数	③申込総数 (①+②)	キャンセル率 (②÷③×100)
2,554 件	848 件	3,402 件	24.9%

注) 平成 25 年度の利用件数・キャンセル件数は、事業を利用できる 6 か月～10 歳の件数である。

3 補正案

上記 2 の補正方法により算出すると、「量の見込み」は、次のとおりとなります。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
量の見込み (補正後)	6,860 人日/年	6,740 人日/年	6,610 人日/年	6,490 人日/年	6,370 人日/年

【参考：審議会です承いただいた現時点での「量の見込み」】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
量の見込み (補正前)	10,020 人日/年	9,850 人日/年	9,670 人日/年	9,490 人日/年	9,330 人日/年